

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	建築設計製図 I	担当教員	門脇和正 (非常勤) 未定 (非常勤) 今田太郎 櫻木耕史			
学年学科	3年 建築学科	通年	必修	4単位		
学習・教育目標	(D-4) 60% (E) 33% (B-2) 7%					
授業の目標と期待される効果： 建築設計は、複数の専門知識を統合して行われる作業である。また、設計条件によって計画も左右される。本演習では、概括的な総合能力を養うことを目的とする。 ①設計条件、社会的要請に応えることができる ②各種施設のプログラム（機能など）を構成できる ③的確に施設計画を計画できる ④計画内容を的確に伝え、表現することができる		成績評価の方法： 各課題 100 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう。総合評価の重み付けは各課題の配点比に従う。ただし、一つでも未提出の課題がある場合は、不合格とする。また、課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。 達成度評価の基準： ①課題にふさわしいコンセプトを作成できる(6割以上) ②的確な機能・空間構成を行える(6割以上) ③多角的な視点から、施設の機能、空間を検討し、創造的に組み立てることができる(6割以上) ④明快かつ、美しいプレゼンテーションおよび説明によって、計画内容を相手に的確に伝えることが出来る(6割以上)				
授業の進め方とアドバイス： ・課題の対象施設の様々な事例を、授業で示される例だけでなく、積極的に雑誌・資料集などにより調べること ・授業計画を基に、主体的にスケジュールを立て、授業時のエスキースチェックを参考にしながら着実に計画を進め、締め切り間際に作業が集中しないようにする。 ・常に図面やスタディ模型の作成などによって、考えを形にしていくこと。						
教科書および参考書：日本建築学会編 コンパクト建築設計資料集成（丸善）						
授業の概要と予定：前期						ALのレベル
第一課題：個人住宅（木造）の計画 担当：門脇和正						
第 1 回：課題提示・説明						C
第 2 回～第 7 回：エスキースチェック 1～6（コンセプト、平面図、立断面図）						C
第 8 回：講評会						A
第二課題：集合住宅の計画 担当：未定						
第 9 回：課題提示・説明						C
第 10 回～第 14 回：エスキースチェック 1～6（コンセプト、平面図、立断面図）						C
第 15 回：講評会						A
授業の概要と予定：後期						ALのレベル
第三課題：公共移設の計画 担当：今田太郎						
第 16 回：課題提示・説明						C
第 17 回～第 21 回：エスキースチェック 1～6（コンセプト、平面図、立断面図）						C
第 22 回：講評会（課題を返却し解説および評価方法の説明を行う）						A
第四課題：教育施設の計画 担当：櫻木						
第 23 回：課題提示・説明						C
第 24 回～第 29 回：エスキースチェック 1～6（コンセプト、平面図、立断面図）						C
第 30 回：講評会（課題を返却し解説および評価方法の説明を行う）						A

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	課題にふさわしいコンセプトを作成できる（8割以上）。	課題にふさわしいコンセプトをほぼ（6割以上）作成できる。	課題にふさわしいコンセプトが作成できない。
②	的確な機能・空間構成を行える（8割以上）。	的確な機能・空間構成をほぼ（6割以上）正しく行える。	的確な機能・空間構成を行えない。
③	多角的な視点から、施設の機能、空間を検討し、創造的に組み立てることができる（8割以上）。	多角的な視点から、施設の機能、空間を検討し、創造的に組み立てることがほぼ（6割以上）できる。	多角的な視点から、施設の機能、空間を検討し、創造的に組み立てることができない。
④	明快かつ、美しいプレゼンテーションおよび説明によって、計画内容を相手に的確に伝えることができる（8割以上）。	明快かつ、美しいプレゼンテーションおよび説明によって、計画内容を相手に的確に伝えることがほぼ（6割以上）できる。	明快かつ、美しいプレゼンテーションおよび説明によって、計画内容を相手に的確に伝えることができない。

H28 年度シラバスサンプル その2 中間試験・期末試験実施 通年, JABEE 認定対象外・履修科目

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス ←全科目, 明朝体 9 ポイント						
教科目名	○○○○	担当教員	高専太郎			
学年学科	○年 ○○学科	通年	必修	2 単位	別表 1 対象科目 内規 19 条四別表 1 対象科目のみ	
学習・教育目標	(D-2 情報・論理系) 100% ゴシツ ク 9p 全角, 全科目		JABEE 認定対象外は空欄			
授業の目標と期待される効果: 3 学年時の○○○○に続き, ○○○○について学ぶと共に, ○○○○を対象とした練習問題を行なうことで, 工学的な問題に対して, 適用できる力を身につける。具体的には以下の項目を目標とする。 ①○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ②○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ③○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ④○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ⑤○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ⑥○○○○○○○○○○○○○○○○○○		成績評価の方法: 前期: 中間試験 100 点+期末試験 100 点 後期: 中間試験 100 点+期末試験 100 点 学年: 前・後期の重みを等しくして合計し得点率 (%) で成績をつける。 達成度評価の基準: ○○○○○○○○○○○○と同レベルの問題を試験で出題し, 6 割以上の正答レベルまで達していること。成績評価への重みは, ①~⑤が各○○%, ⑥が○○%である。 ① 与えられた問題を○○○○として正確に (8 割程度以上) 定式化できる ② ○○○○をほぼ正確に (6 割以上) 解くことができる ③ ○○○○をほぼ正確に (6 割以上) 解くことができる ④ ○○○○をほぼ正確に (6 割以上) 解くことができる ⑤ ○○○○によりほぼ正確に (6 割以上) ○○○○を求めることができる ⑥ ○○○○を利用して現実的な問題をほぼ正確に (6 割以上) 解くことができる				
授業の進め方とアドバイス: 前期は演習問題を記入式で解く様に作られたプリント配布し授業を進める。授業中に記入しながら解法を理解することを期待する。後期は, ○○○○○の知識を現実の問題に如何に適用するかを学習するので, ○○○○○の教科書, ノートなどを持参すると理解しやすいと思われる。						
教科書および参考書: ○○○○○○ (○○○○, ○○出版,1991.4) を前期の教科書として, ○○○○○ (○○○○他, ○○出版,2000.10) を後期の教科書として用いる。 参考書としては, ○○○○○○ (○○出版) を勧める						
授業の概要と予定: 前期						AL のレベル
第 1 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○						
.....						
第 8 回: 中間試験						
.....						
第 14 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○						
期末試験 ← 期末試験は授業回数に含めない						
第 15 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ← フォローアップはありません						

授業の概要と予定: 後期						AL のレベル
第 16 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ← 前期からの通算回数						
.....						
第 23 回: 中間試験						
.....						
第 29 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○						
期末試験 ← 期末試験は授業回数に含めない						
第 30 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ← フォローアップはありません						

通年科目はループリック頁を含めて 3 ページに納めることを基本に

H28 年度シラバスサンプル その3 期末試験のみ実施

授業の概要と予定：前期	ALのレベル
第 1 回：○○○○○○○○○○○○○○	
第 2 回：○○○○○○○○○○○○○○	
第 3 回：○○○○○○○○○○○○○○	
第 4 回：○○○○○○○○○○○○○○	
第 5 回：○○○○○○○○○○○○○○	
第 6 回：○○○○○○○○○○○○○○	
第 7 回：○○○○○○○○○○○○○○	
第 8 回：○○○○○○○○○○○○○○	
第 9 回：○○○○○○○○○○○○○○	
第10回：○○○○○○○○○○○○○○	
第11回：○○○○○○○○○○○○○○	
第12回：○○○○○○○○○○○○○○	
第13回：○○○○○○○○○○○○○○	
第14回：○○○○○○○○○○○○○○*	
期末試験 ← 期末試験は授業回数に含めない	
第15回：○○○○○○○○○○○○○○ ← フォローアップはありません	

*モデルコアカリキュラム検討結果を踏まえ、H28 年度から新規に取り入れた内容

H28 年度シラバスサンプル その4 試験を実施しない

授業の概要と予定：前期	ALのレベル
第1回：実験実習ガイダンス(実験実習における使用機器・薬品などの安全教育，実験の心得)	
第2回：実験実習ガイダンスー○○実験ー	
第3回～第7回 班別に下記の5テーマを実施する	
○○実験テーマ1：○○○○○○○○	
○○実験テーマ2：○○○○○○○○	
○○実験テーマ3：○○○○○○○○	
○○実験テーマ4：○○○○○○○○	
○○実験テーマ5：○○○○○○○○	
第8回 ○○実験のまとめ	
第9回 実験実習ガイダンスー○○実験ー	
第10回～第14回 班別に下記の5テーマを実施する	
○○実験テーマ1：○○○○○○○○	
○○実験テーマ2：○○○○○○○○	
○○実験テーマ3：○○○○○○○○*	
○○実験テーマ4：○○○○○○○○	
○○実験テーマ5：○○○○○○○○	
第15回 ○○実験のまとめ (レポートの評価方法の説明，講評を行なう)	

*モデルコアカリキュラム検討結果を踏まえ、H28 年度から新規に取り入れた内容

H28 年度シラバスサンプル その5 中間試験・期末試験実施, 半期, JABEE 認定対象, 学修単位

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス ←全科目, 明朝体 9 ポイント					
教科目名	○○○○	担当教員	高専太郎		
学年学科	○年 ○○学科	前期	必修	1 単位(学修)	別表 1 対象科目 内規 19 条四別表 1 対象科目 のみ
学習・教育目標	(D-2 材料・バイオ系) 50%, E 50% ←ゴシック 9p 全角, 全科目		JABEE 基準 1 (1):(c)(d) ←ゴシック 9p 全角 JABEE 科目のみ		
授業の目標と期待される効果: 明朝体 9 ポ太字 ○○○○について学ぶと共に、○○○○を対象とした練習問題を行なうことで、工学的な問題に対して、適用できる力を身につける。具体的には以下の項目を目標とする。 ①○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ②○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ③○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ④○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ⑤○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ⑥○○○○○○○○○○○○○○○○○○		成績評価の方法: ←明朝体 9 ポ太字 中間試験 100 点+期末試験 100 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準: (←明朝体 9 ポ太字) 教科書の練習問題と同レベルの問題を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。なお成績評価への重みは、①～⑤を各 20%とする。 ①○○○○○に関する問題をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる ②○○○○○に関する問題をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる ③○○○○○に関して○○○○○を対象としてほぼ正確(6 割以上)に行なうことができる ④○○○○○に関して○○○○○を対象としてほぼ正確(6 割以上)に適用することができる ⑤○○○○○に関して○○○○○を対象としてほぼ正確(6 割以上)に適用することができる ⑥○○○○○○○○○ができる			
授業の進め方とアドバイス: 授業では適宜○○○○○を利用する。ただ単に解が得られれば良いのではなく、用いる手法の本質を理解するように努めてもらいたい。また、本授業で学んだ手法を、実験実習のデータ処理や、5 年次の卒業研究で利用してくれることを期待している。					
教科書および参考書: ○○○○ (○○○○他, ○○出版, 2004,11) を教科書として用いる。また適宜プリントを配布する。					
授業の概要と予定: 前期			教室外学修	AL のレベル	
第 1 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 2 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 3 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 4 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 5 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 6 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 7 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 8 回: 中間試験 ←中間試験は授業の一環として実施					
第 9 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 10 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 11 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○*			○○○○○に関する演習		
第 12 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
第 13 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関してまとめる		
第 14 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○			○○○○○に関する演習		
期末試験 ←期末試験は授業回数に含めない					
第 15 回: ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ←フォローアップはありません					

*モデルコアカリキュラム検討結果を踏まえ、H28 年度から新規に取り入れた内容
 半期科目はルーブリック頁を含めて 2 ページに納めることを基本に

授業の概要と予定：後期		ALのレベル
第16回：○○○○○○○○○○○○○○○ ←前期からの通算回数	○○○○に関する演習	
第17回：○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○に関する演習	
第18回：○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○に関する演習	
第19回：○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○に関する演習	
第20回：○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○に関する演習	
第21回：○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○に関する演習	
第22回：○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○に関する演習	
第23回：中間試験		
第24回：○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○に関する演習	
第25回：	○○○○に関する演習	
第26回：	○○○○に関する演習	
第27回：	○○○○に関する演習	
第28回：	○○○○に関する演習	
第29回：○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○に関する演習	
期末試験 ←期末試験は授業回数に含めない		
第30回：○○○○○○○○○○○○○○○ ←フォローアップはありません		

*モデルコアカリキュラム検討結果を踏まえ、H28年度から新規に取り入れた内容
通年科目はループリック頁を含めて3ページに納めることを基本に